

平成 28 年度 施策評価表

施策 (章)	第 7 章『街づくり』							
まちづくりの目標	誰もが安全で快適に暮らせる 自然と調和した街づくりを進めます							
分野別計画・指針	所沢市街づくり基本方針、所沢市ひと・まち・みどりの景観計画、所沢駅周辺まちづくり基本構想、所沢市中心市街地街並み整備計画、所沢市橋梁長寿命化修繕計画、所沢市水道事業長期構想、所沢市水道事業基本計画、所沢市水道事業中期経営計画、市街化調整区域下水道整備基本計画、所沢市生活排水処理基本計画							
予算額	平成28年度当初予算	98,950	百万円中	8,117	百万円	構成率	8.2	%
基本構想で掲げたまちづくりの目標の実現に向けた主な方針								
◆ 地域の特性に合った街づくりの推進								
◆ 所沢らしい良好な景観の形成								
◆ 所沢駅周辺をはじめ、各鉄道駅周辺などの生活拠点の整備促進								
◆ 安全性・利便性向上のための幹線道路や生活道路の築造・整備								
◆ 災害に強いインフラへの転換								
◆ 米軍所沢通信基地の返還に伴う跡地の有効利用								
基本構想で掲げた「市の課題・方向性」への取り組み状況に対する振り返り								
<p>○北秋津地区を除く旧暫定逆線引き地区5地区について、街づくりの今後の方向性を検討するため、地権者を対象とした説明会及び意向調査を実施した。</p> <p>○米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備に関して、国等との連携を図りながら、東西連絡道路及び既存施設の移設・設置に係る実施設計・土壌調査を実施した。</p> <p>○所沢駅西口地区については、平成27年9月に所沢駅西口土地区画整理事業の事業計画(約8.5ha)の決定及び地区の一部における所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業(組合施行)の都市計画を決定した。</p> <p>○日東地区については、平成27年10月にファルマン交差点南東部に位置する組合施行による所沢東町地区第一種市街地再開発事業の事業計画及び組合設立の認可を得た。また、日東地区の骨格となる道路について検討を行った。</p> <p>○北秋津・上安松地区のうち、西武池袋線西側の地区については、組合施行による土地区画整理事業の実施に向け基本設計の作成等、具体的な活動が進められており、指導・助言を行った。</p> <p>○市内幹線道路の整備を進めており、都市計画道路北野下富線、松葉道北岩岡線の用地取得を行った。また、市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業の用地取得を行った。</p> <p>○西所沢駅西口開設については、パブリックコメントでの市民からの意見等を踏まえ、平成27年8月19日に「西所沢駅西口開設整備計画」を策定した。</p> <p>○水の安定供給を図るため、東部浄水場配水池3号の耐震補強工事を実施し、耐震化を図った。</p> <p>○市街化調整区域第3期整備事業に着手し、管径200mmから250mm・延長約5,710mの下水管を布設し、18.8haを整備した。</p>								
基本構想で掲げた「まちづくりの目標の実現に向けた主な方針」の実行にあたって、特に力を入れていくこと。								
<p>○5地区の旧暫定逆線引き地区について、意向調査結果に基づき県との協議を行いながら街づくりの方向性を決定するとともに、地権者を対象とした説明会を開催してその結果を報告し、形態規制や土地区画整理事業の調整を進める。また、土地利用転換推進エリアについて、計画的かつ適正な都市的土地利用の転換に向け関係者との調整を進める。</p> <p>○米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備に関して、国等との連携を図りながら、東西連絡道路及び既存施設の移設・設置に係る工事着手と一部返還に向けた取り組みを進める。</p> <p>○所沢駅西口土地区画整理事業の換地計画認可に向け手続きを進めるとともに工事に着手する。また、所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業(組合施行)の事業計画及び組合設立認可に向け、指導及び助言等の支援を行う。</p> <p>さらに、所沢駅周辺のにぎわい創出を図るため、来街者等の増加に対応する基盤整備の計画を検討する。</p> <p>○所沢東町地区第一種市街地再開発事業の権利変換計画の認可申請に向け、指導及び助言等の支援を行う。また、日東地区の骨格となる道路整備に向け、具体的に配置、規模及び整備手法を整理し、関係権利者等へ説明等を行う。</p> <p>○北秋津・上安松地区西側の区域にあっては、組合設立認可に向けた指導助言を行うとともに、区域区分等の都市計画変更の手続きを進める。また、地区東側については、都市的土地利用に向け関係権利者と研究を進める。</p> <p>○埼玉県施行の主要幹線道路飯能所沢線、東京狭山線の未整備区間の整備促進を図るとともに市内幹線道路のうち、優先して北野下富線、松葉道北岩岡線、市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)の整備を進める。</p> <p>○西所沢駅西口開設については、「西所沢駅西口開設推進事業」(用地の取得等)を推進していく。</p> <p>○浄水場内の配水池については、災害に強いライフライン構築のため、耐震診断及び耐震補強工事を計画的に進める。</p> <p>○市街化調整区域第3期整備事業については、計画に基づき整備を進め、平成31年度完成を目指す。</p>								
評価日	H28.7.26	記入者職氏名	街づくり計画部次長 秋田 博庸					

指標の達成状況	節	指標	単位	(H25)現状値	H27年度実績	H27年度目標値	H28年度目標値	将来目標(H30)
	第1節 土地利用	都市景観や街並みの満足度	%	66.9	58.6	現状値以上	現状値以上	現状値以上
		東西連絡道路の整備	-	調査(H26)	設計	設計	工事	工事
	第2節 市街地整備	所沢駅の1日平均乗降客数	人	96,485	97,662	→	→	100,000
		地区計画・建築協定の策定地区数	地区	33	33	→	→	36
	第3節 道路	都市計画道路の整備状況	%	69	70.0	→	→	71
		幹線道路を利用した車での平均移動時間	分	18(H26)	18.0	→	→	17
		規格改良済車道延長	km	528	534.0	→	→	538
	第4節 交通	「ところバス」利用者数	人	353,217	391,099	363,000	368,000	378,000
		ノンステップバスの導入率	%	78.2	83.1	79.5	79.5	80.8
第5節 上水道	自己水源(取水井)の点検実施率	%	30	50.0	50	60	80	
	配水池の耐震化率	%	25.0	46.7	46.7	57.6	71.7	
第6節 下水道	下水道普及率	%	92.9	93.0	93.3	93.5	94.0	
	マンホールの耐震化率	%	13.7	45.1	51.0	74.5	100	
第7節 住宅・住環境	居住環境の満足度	%	66	62.2	現状値以上	現状値以上	現状値以上	
	長期優良住宅・低炭素建築物等計画の認定件数	件	220	685	660	880	1,320	

第1節	土地利用	魅力あるまちとして、人が集うまち
基本方針	7-1-1 計画的かつ合理的な土地利用の推進	
	7-1-2 所沢らしい景観まちづくりの推進	
	7-1-3 基地返還と跡地利用の促進	
関係所属	企画総務課、都市計画課、開発指導課、建築指導課	

施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)	要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		682人	32.1%	21位

節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)

○北秋津地区を除く旧暫定逆線引き地区5地区について、街づくりの今後の方向性を検討するため、地権者を対象とした説明会及び意向調査を実施した。
○所沢市街づくり条例に基づく「街づくり協定」を所沢ネオポリス街づくり協定協議会と締結し、地域の特性にあった市民主体の街づくりを推進した。
○「所沢市ひと・まち・みどりの景観条例・計画」に基づき、とことこガーデンの取り組みや、景観市民活動クラブによる春・冬季の景観まちづくり展示会や代表者会議の開催など、市民主体の景観まちづくり活動に対して必要な支援を行った。また、第3回とことこ景観賞の選考に向けたとことこ景観資源の指定や建築物や工作物の届出・審査による規制を行った。
○目標指標の「都市景観や街並みの満足度」について、現状値を下回った。年代別、地区別など、全体的に値が低くなっており、原因を特定することはできない。
○米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備に関して、国等との連携を図りながら、東西連絡道路及び既存施設の移設・設置に係る実施設計・土壌調査を実施した。

今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)

○5地区の旧暫定逆線引き地区について、意向調査結果に基づき県との協議を行いながら街づくりの方向性を決定するとともに、地権者を対象とした説明会を開催してその結果を報告し、形態規制や土地区画整理事業の調整を進める。また、土地利用転換推進エリアについて、計画的かつ適正な都市的土地利用の転換に向け関係者との調整を進める。
○所沢市街づくり条例に規定される市民主体の街づくりを目指す協議会が地域の特性をいかした街づくりを進めるにあたって、街づくりアドバイザーを派遣するなど、その活動を支援する。
○「所沢市ひと・まち・みどりの景観計画」に基づく建築物や工作物の届出に対し審査を行うとともに、景観市民活動クラブに対し景観まちづくりの活動が円滑に進むよう、情報の発信、活動の場の提供、代表者会議の開催などの支援を行うことにより所沢らしい良好な景観の形成を進め、都市景観や街並みの満足度に繋げる。
○米軍所沢通信基地内の東西連絡道路整備に関して、国等との連携を図りながら、東西連絡道路及び既存施設の移設・設置に係る工事着手と一部返還に向けた取り組みを進める。

特に力を入れる事務事業	区域区分見直し事業	街づくり支援事業	東西連絡道路整備事業
-------------	-----------	----------	------------

評価日	H28.7.26	記入者職氏名	経営企画部次長 粕谷 信由、街づくり計画部次長 秋田 博庸、街づくり計画部土地利用推進担当参事 香取 裕司
-----	----------	--------	---

第2節	市街地整備	地域の特性を活かした安全で活力ある街			
基本方針	7-2-1 所沢駅周辺のにぎわいのある街づくりの推進				
	7-2-2 安心・安全に暮らせる街づくりの推進				
	7-2-3 市街地整備の適正な誘導				
関係所属	経営企画課、都市計画課、市街地整備課、開発指導課、建築指導課、狭山ヶ丘区画整理事務所、所沢駅西口区画整理事務所				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		783人	36.8%	11位	3位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○所沢駅西口地区については、平成27年9月に所沢駅西口土地区画整理事業の事業計画(約8.5ha)の決定及び地区の一部における所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業(組合施行)の都市計画を決定した。</p> <p>○日東地区については、平成27年10月にファルマン交差点南東部に位置する組合施行による所沢東町地区第一種市街地再開発事業の事業計画及び組合設立の認可を得た。また、日東地区の骨格となる道路について検討を行った。</p> <p>○北秋津上安松地区のうち、西武池袋線西側の地区については、組合施行による土地区画整理事業の実施に向け基本設計の作成等、具体的な活動が進められており、指導・助言を行った。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○所沢駅西口地区における所沢駅西口土地区画整理事業の事業計画が平成27年9月に決定したことから、換地計画認可に向け手続きを進めるとともに工事に着手する。また、地区の一部における所沢駅西口北街区第一種市街地再開発事業(組合施行)の事業計画及び組合設立認可に向け、指導及び助言等の支援を行う。</p> <p>さらに、所沢駅周辺のにぎわい創出を図るため、来街者等の増加に対応する基盤整備の計画を検討する。</p> <p>○日東地区における所沢東町地区第一種市街地再開発事業の事業計画及び組合設立の認可を平成27年10月に得たことから、権利変換計画の認可申請に向け、指導及び助言等の支援を行う。また、日東地区の骨格となる道路整備に向け、具体的に配置、規模及び整備手法を整理し、関係権利者等へ説明等を行う。</p> <p>○北秋津上安松地区西側の区域にあっては、組合設立認可に向けた指導助言を行うとともに、区域区分等の都市計画変更の手続きを進める。また、地区東側については、都市的土地利用に向け関係権利者と研究を進める。</p>					
特に力を入れる事務事業		所沢駅西口土地区画整理事業	所沢駅西口地区まちづくり事業	北秋津・上安松地区まちづくり事業	
評価日	H28.7.26	記入者職氏名	街づくり計画部次長 秋田 博庸、街づくり計画部所沢駅西口区画整理担当 森田 正雄		

第3節	道路	人と環境に優しく、誰もが安全・快適に道路を利用できるまち			
基本方針	7-3-1 道路計画の推進				
	7-3-2 幹線道路の建設推進				
	7-3-3 生活道路の整備推進				
	7-3-4 歩行者・自転車環境の整備推進				
	7-3-5 道路環境の整備				
関係所属	都市計画課、計画道路整備課、道路建設課、道路維持課、建設総務課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		1,001人	47.1%	5位	1位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○市内幹線道路の整備を進めており、都市計画道路北野下富線、松葉道北岩岡線の用地取得を行った。また、市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)整備事業の用地取得を行った。</p> <p>○歩行者、高齢者が安全に通行できるよう8路線について、道路拡幅用地の取得及び歩道整備を進めた。</p> <p>○橋梁長寿命化修繕計画に基づく修繕工事を実施した。また、修繕が必要な橋りょうの修繕設計業務を実施した。</p> <p>○道路照明灯約8,602灯を包括リース方式により、LED照明灯に交換した。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○埼玉県施行の主要幹線道路飯能所沢線、東京狭山線の未整備区間の整備促進を図るとともに市内幹線道路のうち、優先して北野下富線、松葉道北岩岡線、市道4-1366号線(上藤沢・林・宮寺間新設道路)の整備を進める。</p> <p>○歩行者、高齢者が安全に通行できるよう道路拡幅用地の取得及び歩道整備を進める。</p> <p>○橋梁長寿命化修繕計画に基づき、JR東日本との協定により道路橋の点検を実施するほか、過年度に実施した修繕設計に基づき橋りょうの修繕工事を実施する。</p> <p>○道路照明灯のうち、LED照明灯でないデザイン灯等約400灯についてLED化を進める。</p>					
特に力を入れる事務事業	北野下富線道路築造事業	松葉道北岩岡線道路築造事業	橋梁長寿命化修繕事業		
評価日	H28.7.26	記入者職氏名	建設部次長 長倉 精一郎		
第4節	交通	多様な交通手段を用いて、誰もが安心・安全に移動できるまち			
基本方針	7-4-1 交通政策の推進				
	7-4-2 安全で快適な交通環境の整備				
	7-4-3 鉄道・バスなどの公共交通の充実				
関係所属	交通安全課、企画総務課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		816人	38.4%	7位	2位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○地域公共交通について、「所沢市地域公共交通会議」を設置し、諮問に対する検討・協議を重ねた。</p> <p>○ところバスについては、いろいろな機会を捉え運行の周知に取り組んだところ利用客の増加につながった。</p> <p>○西所沢駅西口開設については、パブリックコメントでの市民からの意見等を踏まえ、平成27年8月19日に「西所沢駅西口開設整備計画」を策定した。</p> <p>○「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(新座市、清瀬市、練馬区、所沢市で構成)」により、交通政策審議会の次期答申に向けた取組みを進めた。</p> <p>○「武蔵野線旅客輸送改善対策協議会」により、JR武蔵野線に旅客輸送等に関する要望活動を実施した。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○所沢市地域公共交通会議からの答申を受け、庁内関係課及び関係機関とともに、本市における地域公共交通の方向性について検討を進める。</p> <p>○西所沢駅西口開設については、「西所沢駅西口開設推進事業」(用地の取得等)を推進していく。</p> <p>○交通政策審議会の答申を受けて、市としては東所沢周辺のまちづくりを着実に進めながら、都市高速鉄道12号線延伸促進協議会を中心に12号線の延伸活動を一層促進する。</p> <p>○JR武蔵野線と西武鉄道池袋線の相互乗り入れやJR武蔵野線の旅客輸送に対する要望を引き続き実施していく。</p>					
特に力を入れる事務事業	地域公共交通検討事業	西所沢駅西口開設検討事業	都市高速鉄道12号線導入促進事業		
評価日	H28.7.26	記入者職氏名	経営企画部次長 粕谷 信由、市民部次長 鹿島 仁		

第5節	上水道	災害に強く、安全で良質な水が安定して供給されるまち			
基本方針	7-5-1 水資源の確保と有効利用				
	7-5-2 安全な水の安定供給				
関係所属	総務課、財務課、水道建設課、給水管理課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		337人	15.9%	42位	7位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○自己水源の確保・保全のため、東部系第8号取水場ほか1か所の井戸の内部点検・清掃を実施した。</p> <p>○水の安定供給を図るため、東部浄水場配水池3号の耐震補強工事を実施し、耐震化を図った。</p> <p>○老朽化した水道管の更新を図るため、ダクタイル鋳鉄管を約10,700m布設した。また、基幹管路である大口径管(口径400mm以上)の布設替えも約2,300m実施した。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○取水施設については、引き続き、内部点検・清掃を計画的に進めるとともに、必要に応じて設備の更新を実施する。</p> <p>○浄水場内の配水池については、災害に強いライフライン構築のため、耐震診断及び耐震補強工事を計画的に進める。</p> <p>○老朽化した水道管(導・送・配水管)については、引き続きダクタイル鋳鉄管への更新を計画的に進める。また、水需要の減少傾向を踏まえダウンサイジングやスペックダウンなどにより効率的な建設投資に努める。</p>					
特に力を入れる事務事業	浄水場整備事業(耐震補強事業)	導・送・配水管整備事業	取水施設保全事業		
評価日	H28.7.26	記入者職氏名	上下水道部技術担当参事 鈴木 久夫		
第6節	下水道	災害に強く、生活環境の改善や水環境の保全に寄与する下水道が整備されたまち			
基本方針	7-6-1 下水道事業経営の効率化				
	7-6-2 生活環境の改善と公共用水域の水質保全				
	7-6-3 災害に強い下水道整備の推進				
関係所属	資源循環推進課、総務課、財務課、下水道整備課、下水道維持課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		407人	19.2%	41位	6位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○「下水道事業経営計画」を策定するため、平成30年度から平成36年度までの事業計画・事業費の洗い出しを行った。</p> <p>○市街化調整区域第3期整備事業に着手し、管径200mmから250mm・延長約5,710mの下水管を布設し、18.8haを整備した。普及率については、整備済み区域内の人口減少の影響を受け目標に達しなかった。</p> <p>○下水道総合地震対策計画に基づき、緊急対策対象路線内のマンホール9か所の耐震化を図った。耐震化工事には社会資本整備総合交付金を活用しているが、交付金の減額があり、単独費を充当して実施したが、耐震化率は目標に達しなかった。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○「下水道事業経営計画」を策定するにあたり、上下水道事業運営審議会への諮問を経て、平成29年度中に策定する。</p> <p>○市街化調整区域第3期整備事業については、計画に基づき整備を進め、平成31年度完成を目指す。</p> <p>○下水道地震対策事業(緊急対策対象路線)については、工法の検討などを含め平成29年度完成を目指して進める。</p>					
特に力を入れる事務事業	下水道管渠布設事業	下水道地震対策事業	下水道長寿命化対策事業		
評価日	H28.7.26	記入者職氏名	上下水道部技術担当参事 鈴木 久夫		

第7節	住宅・住環境	誰もがいつまでも安心して住み続けられるまち			
基本方針	7-7-1 安心・安全で良好な住宅や住環境整備の推進				
	7-7-2 適正な公営住宅の管理・運営				
	7-7-3 住生活の安定と質の向上				
関係所属	市街地整備課、建築指導課				
施策に対する市民ニーズ(「平成27年度所沢市市民意識調査」の結果)		要望者数	要望率	全節中順位	分野中順位
		593人	27.9%	30位	5位
節の基本方針への取り組み状況(前年度の取り組み状況に対する振り返り・H27年度の目標指標が未達成の理由・分析)					
<p>○市営住宅のストック活用に資するため「市営住宅等長寿命化計画」に基づき市営住宅愛宕山団地の耐震補強工事を行った。</p> <p>○埼玉県住宅供給公社への市営住宅の管理代行委託により、効率的な管理運営が図られた。</p> <p>○マンション管理組合及び居住者を対象とし、マンション管理士会との連携によるマンション管理無料相談会や基礎セミナーを開催した。</p> <p>○震災時に緊急輸送道路をふさいでしまうおそれのある建築物の耐震化を促進するため、所有者に耐震診断の働きかけを行ったが、承諾が得られなかった。</p> <p>○目標指標の「居住環境の満足度」については、20代では上昇したものの、50代以上では減少しており、全体で現状値を下回った。この指標には、街並みなどの周辺環境、住宅の広さや採光、通風などの住環境への満足度といった幅広い要素が含まれているため、原因の特定は難しい。</p>					
今後の方向性(「基本方針」に基づいて、今後優先して取り組むべき内容・未達成の目標について、目標の達成に向けて今後実施していく内容)					
<p>○市営住宅長寿命化計画に基づき、市営住宅の修繕を進め良好なストックの活用を図る。</p> <p>○市営住宅においては管理代行の効果を検証しながら、さらに適正かつ効率的な運営につなげる。</p> <p>○震災時に緊急輸送道路をふさいでしまうおそれのある建築物の耐震化について所有者に対し引き続き粘り強く働きかけを行う。戸建住宅耐震促進についても、市ホームページ、行政回覧による耐震相談会のお知らせ等を利用して働きかけを行う。</p> <p>○今年度、平成32年度までを目標年度として「所沢市建築物耐震改修促進計画」を改定する。</p> <p>○目標指標の「居住環境の満足度」については、景観計画や街づくり条例による助言・指導を引き続き行うとともに、住生活に関する施策等を総合的に取り組むことで、満足度の向上につなげていく。</p>					
特に力を入れる事務事業	市営住宅管理代行事業	市営住宅施設整備事業	我が家の耐震診断・耐震改修補助事業		
評価日	H28.7.26	記入者職氏名	街づくり計画部次長 秋田 博庸、街づくり計画部建築指導担当参事 森沢 清行		